

キハ110系100番台 製品ガイド



JR東日本エリアのローカル線のサービス改善を図るためキハ110系は平成3年（1991）に登場しました。それまでの気動車とは大いに姿が違い、軽快なスタイルやカラーリングが特徴で、使用線区にあわせた仕様変更がなされた各番号区分が活躍しています。KATOでは両運転台のキハ110単品（M/T）、片運転台式で2両のユニットを組むキハ111+キハ112の2両基本/増結セットで販売します。



キハ110 - 100 単品（動力付）



キハ110 - 100 単品（動力無し）



キハ111-100+キハ112-100

基本セット（動力付）/増結セット（動力無し）

製品のポイント

- ヘッド/テールライト標準装備。消灯スイッチ付
- ヘッドライトは電球色LEDを採用
- アンテナやベンチレータなどを別付部品で立体的にディテール表現



キハ110系100番台 編成例

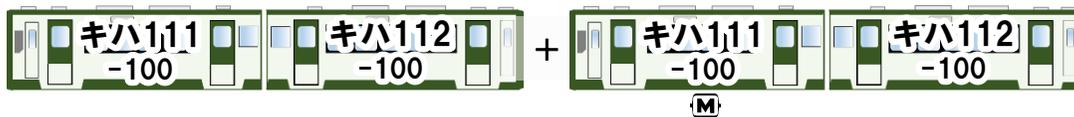
各地での編成の一例です。単行や2両編成を基準に、旅客需要に応じて増結されます。

花輪線

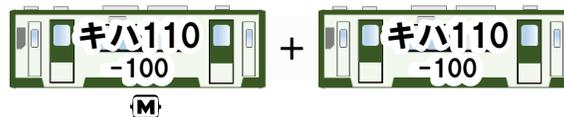


水郡線

(2007年9月まで)



小海線



磐越東線

